

心も そろう



6年生の靴箱の前を通ったとき、思わず足を止めました。一足一足の靴が、きちんと向きをそろえて並んでいたからです。靴箱は、授業で発表する場所でも、運動会で演技を見せる場所でもありません。けれども、そういう「誰かに見られるためではない場所」に、その学年の空気が表れることがあります。

長野県にある円福寺の住職であった藤本幸邦さんの詩「はきものをそろえる」に、次のような一節があります。

「はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう」

靴をそろえるという小さな行動の中には、次に使う自分への思いやり、周りの人への心配り、そして、みんなで気持ちよく過ごそうとする姿勢が表れています。6年生の靴箱には、最高学年として学校を支えようとする静かな決意が並んでいるように感じました。



運動会へ向けて頑張っているのは、6年生だけではなくありません。1年生は初めての運動会に向けて、並び方や話の聞き方を一つ一つ覚えています。2年生は、昨年より少しお兄さん、お姉さんになった姿を見せようと張り切っています。3年生、4年生は、友達と声を掛け合いながら、表現をよりよくしようと練習を重ねています。5年生は、高学年としての自覚をもち、6年生の姿を見ながら、学校を支える力を伸ばしています。

今週末はいよいよ運動会です。気温が高くなることも予想されています。運動会の途中で、適宜、水分補給の時間を確保する予定です。ご家庭では、睡眠や食事など体調を万全に整えて本番を迎えることができるようにご協力をよろしくお願いいたします。

運動会では、走る速さや演技の上手さだけでなく、並び方、話の聞き方、移動の仕方、友達を励ます姿など、日々の学校生活で育ってきた力がたくさん表れます。つまり、運動会は、その日だけの行事ではなく、毎日の積み重ねが輝く場でもあります。

たくさんの保護者の皆様、地域の皆様に見守られる中で、子供たちには、今の自分の力を精一杯出し切ってほしいと思います。そして、まだ出会ったことのない「未知」の自分へ、一步踏み出してほしいと願っています。その一步は、速く走ることかもしれません。友達と心を合わせることもかもしれません。最後まであきらめずにやり切ることもかもしれません。一人一人が、自分なりの一步を踏み出した先に、これからの「道」が少しずつ開けていきます。



靴がそろい、心がそろい、運動会へ向かう気持ちもそろってきました。

(「かめお」の帽子も赤白そろいました。かめおの大ファンの3年生が作ってきてくれました)

本番の日、子供たちはきっと、競技や演技だけでなく、仲間を思う姿、最後までやり切る姿、そして自分の役割を果たそうとする姿でも、たくさんの成長を見せてくれることでしょう。保護者の皆様、地域の皆様には、子供たちの精一杯の頑張りに、どうぞ温かい声援をよろしくお願いいたします。

それでは、そろ そろ おしまいにします。最後までお読みいただき、ありがとうございました。

あとは本番、子供たちの輝く姿を楽しみにしています。